

施策（１） 参加のきっかけづくり

実施目標	実施方法	成果目標	達成年度
①市民活動サポートセンターに情報が集まり、整理・発信できる仕組みの構築	どんな市民公益活動登録団体があって、どんな活動をしているかなど、市民が市民公益活動登録団体を知ろうと、必要な情報を分かりやすく提供します。	市民公益活動登録団体の紹介、活動の紹介など、多様なツールを利用した情報提供	6年度
②市民活動団体の情報発信のサポート	情報発信の課題や悩みなどの聞き取りを行い、課題ごとに対策できる体制を整備します。	情報発信相談体制、協力体制の確立	6年度
⑤市民活動を体験する機会の提供	市民活動への参加、ボランティアスタッフの体験など、様々な関わり方の機会を提供します。	市民に市民公益活動とはどんなものか、どういった登録団体が活動しているかをしてもらうため、出前講座を実施する。	6年度

令和6年度の進捗状況について

市民活動フェア春まつりや市民活動ウィークにおいて、市民公益活動団体のパネル展示を開催しているが、今年度は市内各所でのパネル展を開催した。（行田窯（花手水&足袋蔵めぐり）、教育文化センターみらい、市内企業（R7.1月予定））また、熊谷市のニャオざねまつりに出展し、行田市の市民公益活動のPRを実施。

注目されるチラシづくり講座として、無料のデザインツール Canva の操作方法を学び、注目されるチラシづくり講座を開催。（公財）いきいき埼玉の市民活動スタートアップ講座を活用。

行田市まちづくり出前講座に「みんなで一緒に！協働のまちづくり」としてメニュー登録。市民一人ひとりがイキイキと暮らす行田にするために、いろいろな立場の人と一緒に課題を解決していく取組について紹介していく。

施策（３） 交流の機会、ネットワークづくり

実施目標	実施方法	成果目標	達成年度
②ボランティアセンターとの連携	ボランティアセンターとの情報交換会を実施し、必要とする市民公益活動登録団体の情報などの共有を目指します。	ボランティアセンターと月1回の情報交換会の実施	6年度

月1回の情報交換を実施。市内企業でペットボトルキャップ回収事業が新規ではじまったり、ボランティア相談のマッチング、ボランティア団体登録の紹介等を実施。